

掛川市立総合病院・看護部広報紙

nurse cap ナースキャップ

No.47

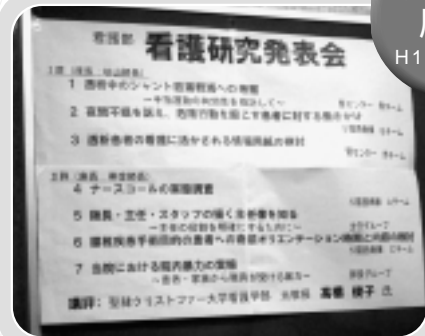
平成19年2月

平成18年度

看護部 研究発表会



発表会
風景
H18.12.21



研究テーマ

「当院における院内暴力の実態」

戸田三枝子

医療機関において、職員が患者・家族から受ける暴力の問題が取り上げられることが多くなりました。私達自身、これは暴力ではないかと感じたり目にした、耳にしたりします。

そこで看護研究として取り組む事になりました。全職員585名に質問紙を配布し、442名から回答を得ました。147名が暴力を体験していました。表をご参照下さい。

患者・家族からの暴力体験は看護師だけでなく多職種に及んでおり、複数の体験をしていた。私達はセーフティーマネージャーの立場から行動を起こしていきたいと考えています。

追伸 数年前はデータの集計を手作業で行ったものでした。今回はパソコンを使えました。入力すれば一瞬にして並べ替えてくれます。便利になったものですね。

アンケート集計結果

職種別暴力体験内容 (重複回答あり)

	体験あり	身体的	言語 非言語的	性的
医師	2	2	2	0
看護師	115	92	82	30
技師	11	5	6	1
事務職員	11	0	11	0
ヘルパー	8	4	4	3
その他	0	0	0	0
計	147	103	105	34